



発行所

日刊自動車新聞社

〒105-0012

東京都港区芝大門1丁目10番11号

電話 東京(03)5777-2351代表

©日刊自動車新聞社2025

7月8日
(火曜日)

レクサスLMに採用

NPAC

ピラー部品

日本ペイント・オートモ
ティブコーティングス(NP
AC、西村智志社長、大阪府
枚方市)は、小島プレス工業
(小島栄二社長、愛知県豊田
市)子会社の内浜化成(同)
と共同開発した「自動車向け
熱可塑性樹脂大型外装部品の
型内塗装技術」を用いたピラ
ー部品が、トヨタ自動車の
「レクサスLM」に採用され
たと発表した。外装部品で同
技術が採用されるのは国内初
という。7月から生産を開始

型内塗装を用いたピラー部品



しており、月内には量産車に
搭載される予定とする。

同部品は、サイドウインド
ーと一体化する構造で、デザ
イン性と耐久性が求められ
る。今回の型内塗装技術で
は、金型内で樹脂成形をした

後、塗料を注入し、成形品の
表面に塗膜を形成する。これ
により一般的なスプレー塗装
に比べ高い表面平滑性を実
現。見栄えの良さと品質の高
さを両立したことから採用さ
れた。

金型内で樹脂成形や塗装を
行う型内塗装技術は、生産性
向上や二酸化炭素排出量削減
につながることから、部品メ
ーカー各社で開発が進んでい
る。内装部品では4月、東海
理化が精工技研と共同開発し
た小型部品向けの型内塗装技
術を用いたスイッチ部品がト
ヨタ「ハイエース」に採用さ
れた。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2025年7月8日 日刊自動車新聞 3面 ©日刊自動車新聞社 無断複製転載を禁じます。